

平成26事業年度

決算報告書

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

国立大学法人横浜国立大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	8, 542	8, 599	57	注1
施設整備費補助金	494	776	281	注2
補助金等収入	850	979	129	注3
国立大学財務・経営センター施設費交付金	45	45	—	
自己収入	5, 840	6, 152	312	
授業料、入学料及び検定料収入	5, 739	5, 654	△85	注4
雑収入	101	497	396	注5
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1, 805	2, 149	343	注6
目的積立金取崩	343	—	△343	注7
計	17, 922	18, 702	779	
支出				
業務費	14, 726	14, 271	△455	
教育研究経費	14, 726	14, 271	△455	注8
施設整備費	539	613	73	注9
補助金等	850	958	108	注10
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1, 805	1, 738	△67	注11
計	17, 922	17, 581	△341	
収入－支出	—	1, 120	1, 120	

※決算報告書は、百万円未満切捨で作成しています。

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国立大学法人の行う「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置事業に伴う特別運営費交付金が交付されたことによる69百万円の増、教育改善推進事業に伴う特別運営費が交付されたことによる23百万円の増、前年度特殊要因退職手当繰越額に係る予算と実際の繰越金額の差異による44百万円の減、平成24年度復興関連事業における年度計画予算作成後の経費執行4百万円の減等により、予算に比して57百万円決算額が多額となっております。

(注2) 平成24年度補正予算経済対策分の入金による212百万円の増、同予算の年度計画予算作成後の繰越事由による59百万円の増、さらに平成26年国立大学改革強化促進分の概算払受領による9百万円の増により、予算額に比して281百万円決算額が多額となっております。

(注3) 予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことによる190百万円の増、当期末収入金分61百万円の減等の理由により、予算金額に比して129百万円決算額が多額となっております。

(注4) 授業料収入90百万円の減、入学料収入14百万円の増、検定料収入8百万円の減により、予算額に比して84百万円決算額が少額となっております。

(注5) 科学研究費補助金等間接経費収入、財産貸付料収入、教員免許更新講習料収入、有価証券受取利息収入等により、予算額に比して396百万円決算額が

多額となっております。

- (注6) 寄附金収入89百万円の増、受託研究収入141百万円の増、共同研究69百万円の増、並びに受託・共同事業収入28百万円の減。一方、前年度以前の収入を財源として、受託研究収入が22百万円の増、共同研究収入が46百万円の増となり、合計343百万円予算額に比して決算額が多額となっております。
- (注7) 平成22年度剰余金を財源とした目的積立金の支出に伴う取崩額で、事業の翌年度以降への繰越のため予算額に比して決算額が343百万円少額となっております。
- (注8) (注7)に記した理由等により、予算金額に比して決算金額が455百万円少額となっております。
- (注9) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が73百万円多額となっております。
- (注10) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が108百万円多額となっております。
- (注11) (注6)に示した理由、並びに翌期以降への繰越等により、予算額に比して67百万円決算額が少額となっております。